



県警察の機能強化（案）の概要



令和7年6月

1 機能強化の必要性

社会情勢の変化
人口構造の大きな変化



治安情勢の変化
新たな治安課題に直面



現状と課題
業務負担量の較差
優秀な人材確保等…



新たな治安課題に的確に対応

将来にわたり高い治安水準を維持

広島県警察の目指すべき姿

警察機能をより一層充実・強化し
県民の安全・安心を確保していく

2 機能強化の方向性

5つの基本方針

- 1 県民の安全・安心の確保
- 2 総合的な治安維持力の向上
- 3 人員配置の最適化
- 4 勤務体制の見直し
- 5 警察施設の安全な維持管理

本部



- ▶ 治安情勢の変化に柔軟かつ的確に対応
- ▶ 警察署の支援・指導機能を強化

警察署



- ▶ 拠点警察署の規模を拡大し事案対処能力を強化
- ▶ パトカー等による街頭活動等を強化
- ▶ 交番等勤務員の複数配置と柔軟な運用
- ▶ 住民のニーズに応じた行政サービスの提供

3 機能強化により期待される効果

① 事案対処能力の強化



最適化するため再編し
警察力を最大限に発揮

- ▶ 重大な事件・事故発生時により多くの警察官を投入し迅速・的確に対応することが可能
- ▶ 情勢の変化によって生じる治安対策上の諸課題に的確な対処が可能

② 街頭活動等の強化



パトカーの再配分と
効果的な配置転換

- ▶ スケールメリットを生かしたパトロールの強化や管内の治安維持力を向上
- ▶ 単独勤務であった交番等を複数勤務化して不在時間を減らし地域住民の安心感を醸成

③ 警察施設の維持と働きやすい職場づくり



- ・ 警察施設の総量を最適化し維持管理コストを縮減
- ・ 働きやすい職場環境を形成

- ▶ 警察施設の機能維持
- ▶ 優秀な人材の確保・職員のスキルアップ
- ▶ 県民に対する治安サービスの向上

➤ 将来にわたって安全・安心な広島県を実現

社会情勢・治安情勢の変化を踏まえ、治安課題に的確に対応

➤ 警察力を最大限に発揮できる組織づくり

治安課題への対応に遅れを取ることのないよう、指針の実効性等について
不断の検証